

# 新居浜の

## 産業遺産物語

物語⑦

### 旧山根製錬所煙突

(国登録有形文化財)



旧山根製錬所煙突 (木村孝撮影)



明治23年写真帳の山根製錬所全景  
(別子銅山記念館所蔵)

山根公園の南、「えんとつ山」の愛称で知られる生子山しゅうじやまにあるれんがの煙突は、明治21(1888)年に操業を開始した山根製錬所の煙突です。

山根製錬所では、それまで廃棄していた銅の成分が少ない鉱石(貧鉱)を粉にして水に溶かし銅を回収していました(湿式収銅法)。

また、副産物として硫酸などの化学薬品の製造や製鉄実験も行なうなど、最先端の化学工場でした。

しかし、当時の技術力では、海外製品に對抗できず経営が悪化し、煙害問題も重なって明治28年に閉鎖されました。わずか数年の稼働でしたが、煙突は140年前の雄姿を今に伝えています。

現在は、地元の有志「えんとつ山倶楽部」によるボランティアで散策ルートなどが保存整備され、夜はライトアップされるなど、象徴的な別子銅山産業遺産の一つとなっています。

別子銅山文化遺産課 ☎65-1236

広告欄